

## 第 7 1 回全国高等学校軟式野球選手権北信越大会開催要項

1. 名 称 第 7 1 回全国高等学校軟式野球選手権北信越大会
2. 期 日 令和 8 年 8 月 1 日（土）、2 日（日）2 日間（雨天順延）  
予備日 8 月 3 日（月）～8 月 4 日（火）
3. 会 場 魚津桃山運動公園野球場 魚津市出字桃山 3 6 TEL 0765-22-0077
4. 主 催 北信越地区高等学校野球連盟
5. 主 管 富山県高等学校野球連盟
6. 後 援 富山県教育委員会、朝日新聞社富山総局、毎日新聞社富山支局
7. 参 加 資 格 日本高等学校野球連盟の制定する令和 8 年度大会参加者資格規定による。  
ただし、令和 8 年度に硬式野球選手として登録された者ならびに母校を背景とした  
クラブチーム以外の野球チームに登録または所属した者は出場することはできない。
8. 試 合 球 全日本軟式野球連盟公認の M 号球を使用する。
9. 参 加 校 長野県 2 校、新潟県 1 校、富山県 1 校、計 4 校
10. 入 場 料 無料
11. 参加申込み 7 月 2 8 日（火）1 2 時までに所定の選手資格証明書をメールにて提出すること。  
また、原本は公式練習の際に提出すること。

【提出先】〒930-8540 富山県富山市庄高田 413

富山県立富山商業高等学校 小嶋 昌彦 宛

TEL : 076-441-3438 FAX : 076-441-3439

12. 組合せ抽選 7 月 2 8 日（火）1 6 時 3 0 分より、出場校主将によるオンラインでの抽選を行う。  
抽選時は当該校責任教師も立ち会うこと。なお、抽選は次の原則に従う。  
① 同一県チームは、1 回戦で対戦しない。
13. 大会本部 魚津桃山運動公園野球場 TEL:0765-22-0077
14. 開・閉会式 8 月 1 日（土）午前 8 時 4 5 分より開会式、8 月 2 日（日）決勝戦終了後閉会式を  
それぞれ魚津桃山運動公園野球場で行う。

### 【開会式】（8 : 45）

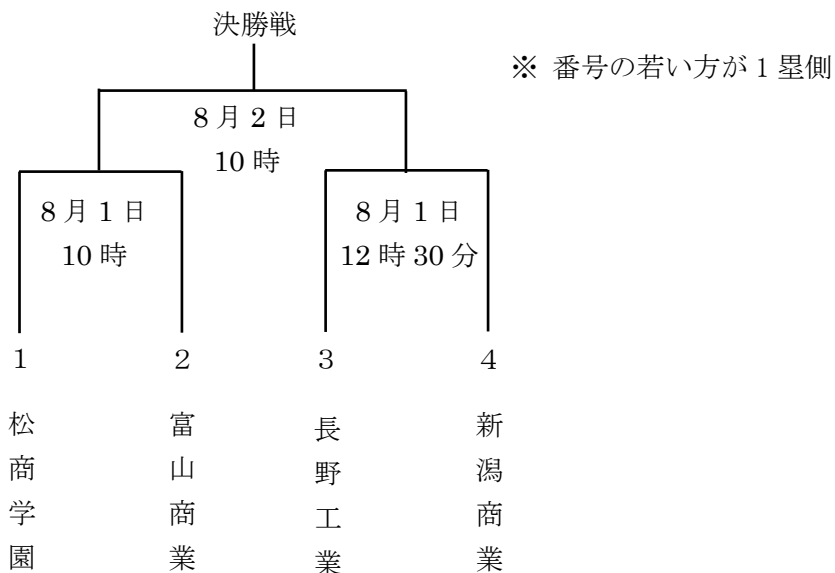
- 1 役員整列
- 2 選手入場
- 3 国旗・連盟旗掲揚
- 4 優勝旗返還
- 5 開会の挨拶
- 6 歓迎の言葉
- 7 選手宣誓
- 8 一同退場

### 【閉会式】

- 1 役員整列
- 2 選手入場
- 3 優勝旗・賞状・メダル授与
- 4 閉会の挨拶
- 5 国旗・連盟旗降納
- 6 優勝校・準優勝校ダイヤモンド一周
- 7 一同退場

- 開会式には、各チームとも午前 8 時 30 分までに全員ユニフォームを着用して、桃山運動公園野球場 1 塁側選手入場口前に集合して下さい。
- アップシューズ、もしくは、スパイクで統一してください。
- 入場時のプラカード持ちは、選手、選手と同じユニフォームを着用した部員（背番号なし）、女子部員のいずれかとする。女子部員の場合、選手と同じユニフォームを着用するか、制服・黒のローファー靴（または白の運動靴）とする。
- 選手宣誓は、富山県代表校（富山商業高校 濱井 楓真）とする。

## 15. 組み合わせ



16. 審判委員 富山県高等学校野球連盟審判委員

17. 経費 出場チームの旅費、宿泊費は全額各チーム負担とする。

宿泊費は 1泊1食で10,000円(税込) とする。

18. 大会前（7月31日(金)）の公式練習割り当て

| 練習時間        | 桃山運動公園野球場 |
|-------------|-----------|
| 10:00～11:30 | 富山商業高等学校  |
| 11:30～13:00 | 松商学園高等学校  |
| 13:00～14:30 | 長野工業高等学校  |
| 14:30～16:00 | 新潟商業高等学校  |

※ 7月29日(水)15時までに各県事務局並びに出場校に「組み合わせ」「前日練習割」をメール、または、FAXにて連絡致します。

※ 練習ユニフォームは原則、チームで統一すること。ただし、チーム事情等で統一できない場合は、事前に大会本部へ連絡すること。

大会1日目の練習会場割り当てはありません。

19. 代表者会 各連盟代表者1名による代表者会を8月1日(土)15:30～桃山運動公園野球場で実施する。各県の該当者は必ず1名は出席すること。

20. 宿 舎

| 日付          | 県 | 宿舎名 | 住所 | 電話 |
|-------------|---|-----|----|----|
| 7/31<br>(金) |   |     |    |    |
| 8/1<br>(土)  |   |     |    |    |

※ 宿泊の申込は別紙の「宿泊要項」に従ってください。

21. 試合中の紛争処理

試合中に紛争が生じた場合は、その試合を担当する審判員が責任をもって処理する。

## 22. 試合に関する諸規定

- (1) 試合は 2023 年度公認野球規則、アマチュア野球内規、高校野球特別規則を適用する。
- (2) 試合前練習は、外野でウォーミングアップ、キャッチボール、内野ファウルエリアでトスバッティングができる。外野では、必ずアップシューズで行うこと。トスバッティングを行う場合、打者は内野フェアグラウンド方向へ打つこと。サイドノックは禁止とする。
- (3) スパイクは、シートノックでグラウンドに入る直前にベンチで履き替えること。
- (4) シートノックは原則として 7 分間ずつ行う。ただし、前試合の進行が遅れた時等で時間を短縮するか省略することがある。なお、シートノックの練習補助員（生徒に限る）参加を 5 名まで認める。補助員は、必ずヘルメットを着用し、ノッカーへのボール手渡し、送球受球（ダイヤモンド内は 1 塁ベースのみ可）、ブルペン捕手等とし、ノックは絶対に受けないこと。また、女子部員の補助員を、ノッカーへのボール手渡しに限り、最大 2 名まで認める。ただし、責任教師の指導の下、高校野球にふさわしい運動着、運動靴で参加すること。
- (5) ノッカーが、監督、責任教師以外の場合は、大会本部に届け出ること。
- (6) ベンチ入り人員は、責任教師・監督・記録員（生徒に限る）各 1 名と登録選手 18 人以内の最大 21 人以内とする。なお、記録員の服装は、学生服、トレーニングウェア、背番号のないユニフォームのいずれかとする。
- (7) 打者、走者およびベースコーチ、バットボーイ、ボールパーソンは、危険防止のため、必ず SG マーク付き（製品安全協会認証）両耳つきヘルメットを着用する。色彩は黒、紺または白のいずれか 1 色とし、表面にはチームの校名および、その頭文字、校章、番号以外の表示はできない。また、側頭部への校名等の表記を禁止し、前頭部 1 ヶ所とする。なお、後頭部または側頭部への番号表記は差し支えない。捕手は守備につく際、必ずヘルメット（SG マーク付）、マスク、プロテクター、レガース、ファールカップを着用すること。マスク、プロテクター、レガースの色彩は、黒、紺とし、ヘルメットの色彩と表記は打者用と同じ扱いとする。
- (8) 金属バットの使用は、日本高等学校野球連盟並びに全日本軟式野球連盟で許可したものに限る。硬式用金属バットの使用も認める。ただし、色彩（バット本体、商標）は、日本高等学校野球連盟が定めた「高校野球用具の使用制限」で規制したものに限る（金属の地金の色、木製に近い色または黒色）。商標表示は 1 色に限る。ただし、表示の大きさは縦 8 センチ、横 28 センチ以内とする。なお、軟式用バットの打撃部への商標表示については、2 ヶ所（表面、裏面）まで認める。また、テーパー部にはリングなど商標と認識されない印刷は認める。なお、木製、金属バット以外のバット（ビヨンド、ハイコンバット等）の使用は認めない。
- (9) 走者やベースコーチらが、捕手のサインを見て打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。もし、疑わしい行為があれば審判員はタイムをかけ、当該選手と攻撃側ベンチに注意し中止させる。
- (10) コールドゲームは 5 回以降 10 点差、7 回以降 7 点差とする。決勝戦においてはコールドゲームを適用しない。
- (11) 天候状態などで球審が試合の打ち切りを命じた場合は、継続試合として翌日以降に試合を行う。なお、行われた回数に関係なく、勝敗を決する（通常は 9 回、タイブレークになった場合も含む）まで継続して行う。
- (12) 試合が 9 回終了時に同点の場合、10 回からタイブレークを開始する（高校野球特別規則 23）。
- (13) 危険防止のため、鉄棒、バットリングなどの持ち込みを禁ずる。また、メガホンの持ち込みは 1 個とし、使用は監督に限る。試合中のベンチ内での携帯電話、ラジオ等の使用を禁じる。
- (14) 攻守の決定は、第 1 試合の場合は試合開始予定時刻の 40 分前、第 2 試合以降の場合には試合開始予定時刻の 1 時間前に大会本部で行う。所定の用紙にオーダーを記入の上、両校の責任教師は主将を同行して集合すること。なお、オーダー用紙は球場に到着次第速やかに提出すること。

- (15) 責任教師、監督、選手の登録変更は、開会式受付時まで認める。所定の用紙に記入の上、大会本部に提出すること。
- (16) 今大会に登板するすべての投手に関して、総投球数が 500 球を超えないこと。また、本大会開催 1 週間以内に県予選会を実施した県は、大会前日までに、出場校の公式記録を大会本部へ提出すること。(メール可)
- (17) 暑さ指数(WBGT)が 25 を超える場合、3 回表、5 回裏、7 回表が終了後、給水タイムを設定する。5 回裏終了時はグラウンド整備、水撒きの時間を含める。ただし、気象状況によっては時間を短縮するか適用を中止することがある。

#### 23. 応 援

- (1) 生徒応援団には必ず引率教師がつき、所定の席で応援すること。
- (2) ブラスバンド以外の鳴り物は禁止する。太鼓の使用はリーダーのみ認める。試合前後と自チームの攻撃の時に演奏し、相手チームの攻撃の時は自粛する。
- (3) 横断幕等はスタンドの最上部に取り付けること。

#### 24. そ の 他

- (1) 試合中に起こった不慮の事故に対しては応急手当をする以外主催は一切責任を負わない。
- (2) 前回大会(第 70 回大会)優勝校 松商学園高等学校 は優勝旗を返還すること。
- (3) 優勝校は兵庫県明石市、姫路市で行われる、第 71 回全国高等学校軟式野球選手権大会に北信越代表として出場する。